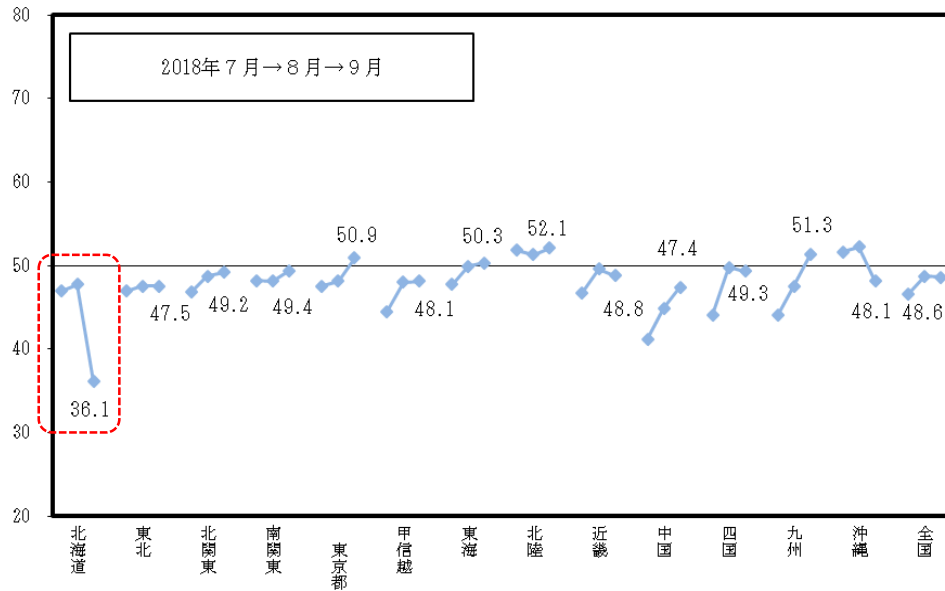


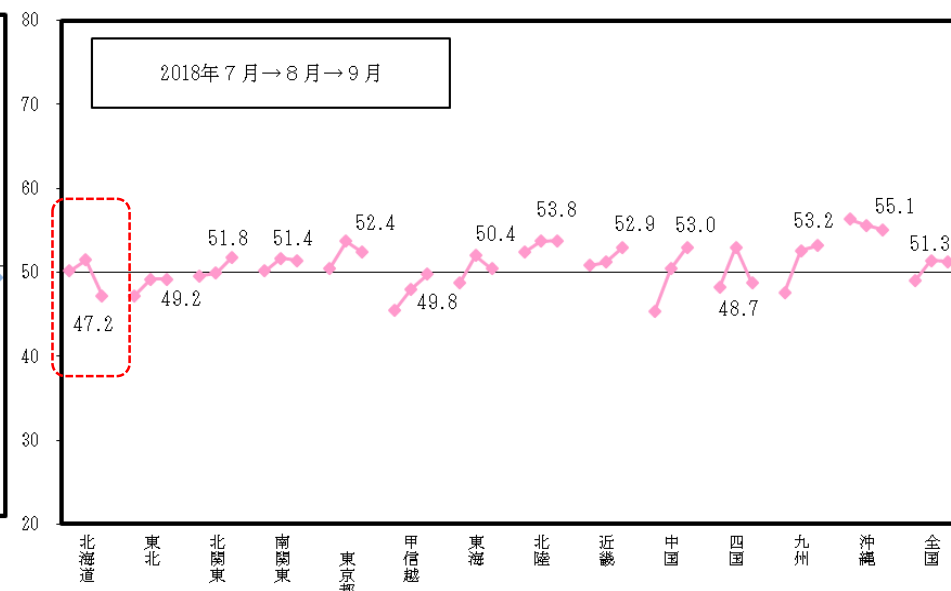
(参考)景気ウォッチャー調査(9月)における自然災害の影響

- ▶ 北海道胆振東部地震及び関西国際空港等が被災した台風21号の影響を地域別判断DIで見ると、北海道で前月差▲11.6ポイント、近畿で同▲0.8ポイントとなり、特に、北海道でDIの大幅な低下がみられた。
- ▶ 北海道地域では、北海道胆振東部地震に関連するコメント数が現状で65件、先行きで56件となった。近畿地域では、台風21号(空港被災を含む)に関連するコメント数が現状で41件、先行きで19件となった。

●地域別現状判断DI



●地域別先行き判断DI



●自然災害に関連するコメント数

	北海道胆振東部地震関連 (※1)			台風21号(関西国際空港被災)関連 (※2)		
	現状 関連コメント数	先行き 関連コメント数	回答者数	現状 関連コメント数	先行き 関連コメント数	回答者数
全国	115 [6.2%]	66 [3.6%]	1850 [100.0%]	65 [3.5%]	21 [1.1%]	1850 [100.0%]
うち北海道地域	65 [58.0%]	56 [50.0%]	112 [100.0%]	—	—	—
うち近畿地域	—	—	—	41 [15.8%]	19 [7.3%]	260 [100.0%]

(備考) 「景気ウォッチャー調査」(2018年9月調査、調査期間:9月25日~30日)により作成。

(※1)は「北海道胆振東部地震」「停電」「節電」、(※2)は「台風21号」「関西国際空港」のいずれかの単語を含むコメントの数をそれぞれ集計したもの。

景気の現状に関するコメントにみられる影響

➤ 景気の現状に関しては、インバウンドを含む旅行・観光への影響や、生活・生産面への影響に関するコメントがみられた。

※◎: 良、○: やや良、□: 不変、▲: やや悪、×: 悪 ※網掛けコメントは、地震では北海道地域以外、台風では近畿地域以外のコメント

【北海道胆振東部地震の影響】

【台風21号(関西国際空港被災)の影響】

旅行・観光への影響

- ▲ 9月6日に発生した北海道胆振東部地震被害及びその影響による全道停電のため、外国人観光客のキャンセルが多発している。電力が順調に復旧し、節電の数値目標を取りやめた現在、当地の観光は平常に戻っているが、9～10月の観光シーズンを直撃した災害の影響は大きく、回復には時間が掛かることになる。(北海道＝旅行代理店)
- × 9月は北海道胆振東部地震の影響で外国人観光客及び近郊のイベント関連での宿泊客が激減してしまった。国内の観光客、ビジネス客による宿泊は若干回復基調にあるが、補填にはほど遠い。(北海道＝観光型ホテル)
- 北海道胆振東部地震の影響で、旅行先を変更した客が九州に流れている。(九州＝観光型ホテル)

旅行・観光への影響

- ▲ 台風21号の影響による大規模な停電と、関西国際空港の冠水や連絡橋事故による通行止めで、インバウンド需要が激減した。既に復旧しつつあるとはいえ、関西経済に多大な影響が出ている。(近畿＝家電量販店)
- ▲ 台風21号、特に関西国際空港の運航制限が、宿泊客の減少に大きく影響している。(近畿＝都市型ホテル)
- ▲ 平成30年7月豪雨及び2度の台風、北海道胆振東部地震の影響により、客の旅行需要が低下している。(四国＝旅行代理店)

生活・生産面への影響

- ▲ 北海道胆振東部地震と停電による影響で、防災用品や必需品の需要は高まっているが、嗜好品やおしゃれ着など、すぐに必要な商材以外の購入を控えている様子が見え始める。(北海道＝スーパー)
- 9月は北海道胆振東部地震の影響で、売上そのものは一時的に伸びたが、その後は商材の供給が滞り、品切れ状態が続いた。(北海道＝コンビニ)
- 本来であれば建築工事の最盛期となる時期であるが、度重なる台風の襲来や北海道胆振東部地震の発生で現場作業の工程に遅れが生じている。(北海道＝建設業)
- ▲ 台風や北海道胆振東部地震の影響で物流が止まったことから、作業や輸送の工程が一層圧縮されており、人手不足、車両不足の影響が顕著になってきている。(北海道＝輸送業)
- ▲ 北海道胆振東部地震と停電の影響で観光業界を始め、全業種で募集を手控える状況がみられる。(北海道＝求人情報誌製作会社)

生活・生産面への影響

- 9月4日の台風21号による被害が大きく、消費マインドが冷え込み、高額品を中心に売上が落ち込んだ。関西国際空港の連絡橋の事故によって訪日外国人が減少し、インバウンド売上也低迷している。(近畿＝百貨店)
- × 9月は2回の台風直撃や天候が悪過ぎたことで、商店街の人通りは少なく、夜の来客数も少ない。(近畿＝一般レストラン)
- 景気自体に変化はないものの、業績の実態は悪い。9月は3連休が多かったほか、9月4日の台風21号による停電のため、3日間は工場の機能がストップしたため、9月の操業率は著しく低下している。(近畿＝電気機械器具製造業)
- ▲ 上期決算の時期であるが、例年ほどの広告出稿がみられない。特にテレビCMの動きが少ない。また、台風の影響で、インバウンド関連の広告を控える動きがみられる。(近畿＝広告代理店)
- 損害保険会社による台風関連の対応要員の需要で、短期的にはあるが、全国で求人数が増加している。(近畿＝民間職業紹介機関)

景気の先行きに関するコメントにみられる影響

➤ 景気の先行きに関しては、家計や企業活動への影響が長引くことを懸念するコメントがある一方、インバウンドを含む旅行・観光などの回復に期待するコメントがみられた。

※◎：良、○：やや良、□：不変、▲：やや悪、×：悪 ※網掛けコメントは、地震では北海道地域以外、台風では近畿地域以外のコメント

【北海道胆振東部地震の影響】

被災の影響が長引くことへの懸念

- × ・今夏の天候不順などで米を中心とした農作物の作柄が悪いことから、今後の景気は悪くなる。北海道胆振東部地震の影響により、客の買い渋りが強まることも懸念される。(北海道＝コンビニ)
- ▲ ・安全なイメージのある北海道で北海道胆振東部地震のような大きな地震が発生したことで、今後、道外からの観光客が減少し、ホテルの建設ラッシュに歯止めが掛かることを懸念している。(北海道＝建設業)
- ・先々の予約状況は前年並みであり、大きな変化はない。ただし、北海道胆振東部地震で乳製品の価格や仕入状況に影響が出ると思われるので、注視していきたい。(南関東＝高級レストラン)

被災からの回復への期待

- ・ウインターシーズンに向かうなか、徐々に景気が回復してくることになる。一時的に落ち込んだ外国人観光客も次第に回復し、年末から年始にかけて北海道胆振東部地震以前の水準まで戻るとみられる。(北海道＝百貨店)
- ・台風や北海道胆振東部地震の停電による影響が少しずつ回復傾向にあることから、今後についてはやや良くなる。また、これから本格的な収穫期の始まる農業が堅調に推移することもプラスである。(北海道＝新聞社[求人広告])
- ・北海道胆振東部地震後の大停電による物流への影響は最小限で済んだが、9月は3連休が2回あったことに加えて、停電に備えた節電要請もあり、月内は物流の多少の混乱が続いている。ただ、物流繁忙期に向かう10月以降は、徐々に回復していくことが期待できる。(北海道＝輸送業)

【台風21号(関西国際空港被災)の影響】

被災の影響が長引くことへの懸念

- ▲ ・今回の台風による被害の影響は、かなり長引く可能性がある。消費マインドが節約志向になり、買上げ単価も落ちることが懸念される。(近畿＝百貨店)
- ▲ ・台風21号の影響が大きく、工事が遅れており、進捗状況が悪い。(近畿＝住宅販売会社)
- ・台風の影響により、靴の材料の輸入に支障が出ており、メーカーにとっては納期遅れの心配が出てきている。(近畿＝その他製造業[履物])

被災からの回復への期待

- ・関西国際空港の機能回復でインバウンドの増加が見込まれるほか、株高により富裕層の購買意欲が更に高まる。(近畿＝百貨店)
- ◎ ・関西国際空港の連絡橋も復旧し、鉄道も通常運行となったことで、徐々にではあるが訪日外国人の宿泊が戻ってきている。(近畿＝都市型ホテル)
- ・台風や大阪北部地震の影響はあるが、徐々に来場者は戻りつつある。(近畿＝観光名所)